

3号機原子炉格納容器内取水設備の運転開始について

2022.9.29

TEPCO

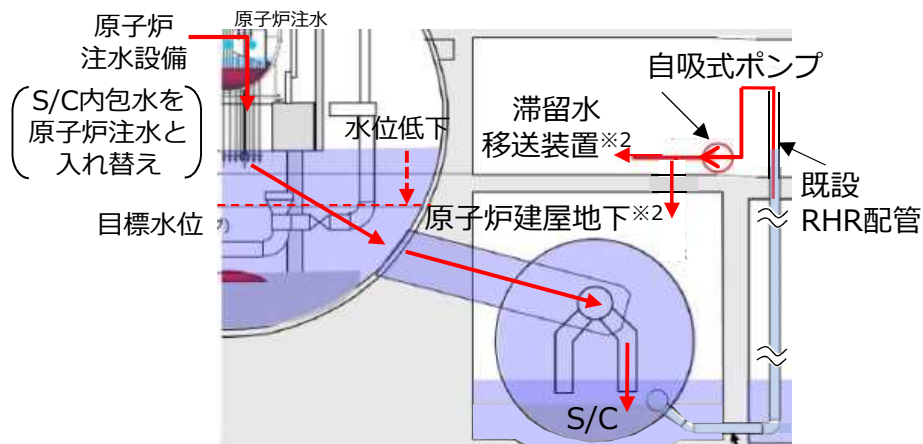
東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- 現状，PCVの耐震性向上策として，段階的にPCV(S/C)水位の低下を行うことを計画している。
- ガイドパイプ設置等（ステップ2）に先立ち，PCV水位をR/B1階床面以下で管理（ステップ1）するため，S/C下部に接続する既設RHR配管を用いて自吸式ポンプにより取水するPCV取水設備を設置した（5月に使用前検査終了証を受領）。
- 10月上旬より，PCV取水設備の運転を開始し，S/C底部から取水することで原子炉注水と入れ替えし，PCV水位低下に向けたS/C内包水の水質改善※1を実施。

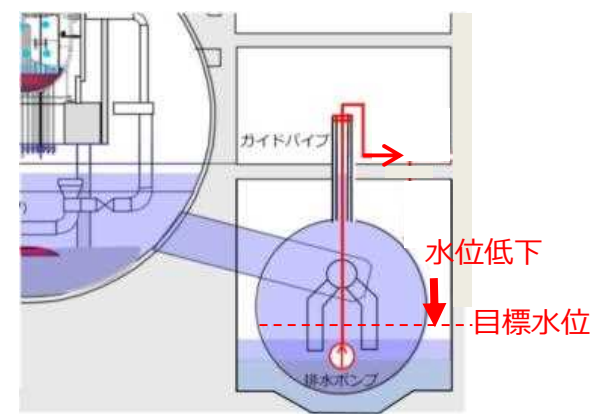
※1：PCV取水設備の運転により，S/C内包水（高濃度汚染水）のCs-137濃度を10E+8Bq/Lオーダから10E+7Bq/Lオーダ（建屋滞留水相当）まで低下（目標）することで，PCV水位低下時の取水による水処理設備等への影響を抑制（2023年度末まで実施予定）。

ステップ1（目標水位：R/B1階床面以下）



既設配管を用いたS/C内包水の取水イメージ

ステップ2（目標水位：S/C下部）



ガイドパイプによるPCV(S/C)からの取水イメージ

※2：S/C内包水の水質改善後は，移送先を原子炉建屋地下から滞留水移送装置に切り替える可能性あり。

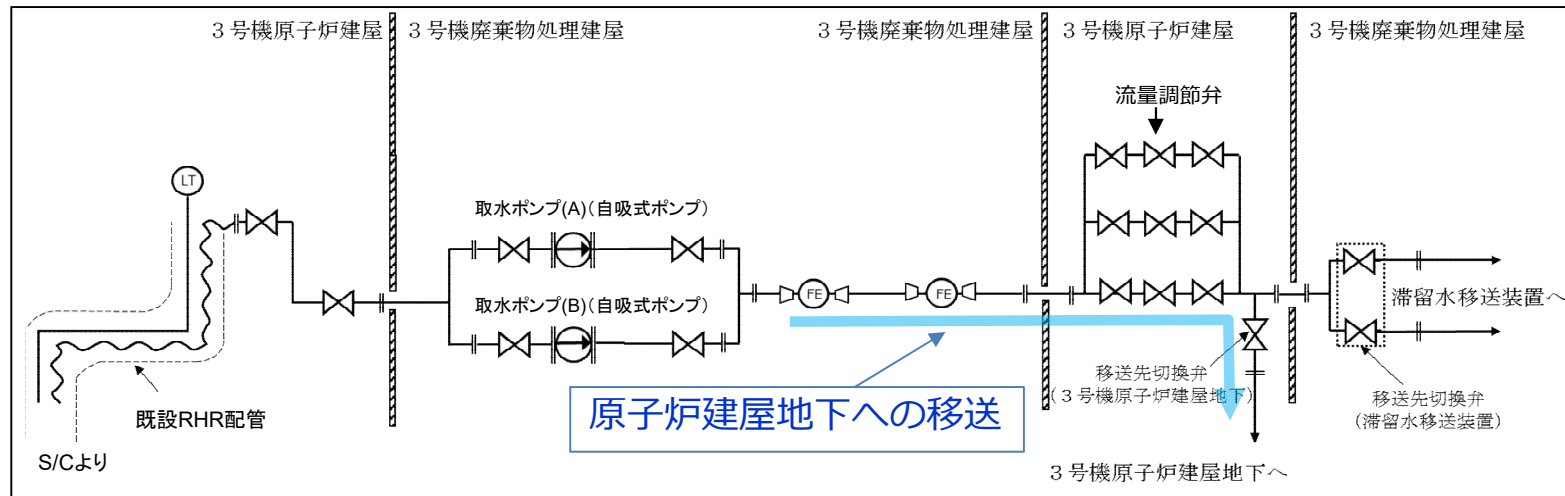
PCV：原子炉格納容器 S/C：圧力抑制室 R/B：原子炉建屋 RHR：残留熱除去系

2. PCV取水設備によるS/C内包水の取水量とPCV水位管理

<S/C内包水の取水量>

- 取水量は、S/C内包水の水質（Cs-137、塩素、Sr-90、トリチウム）に応じて調整・定める※1。
- 取水したS/C内包水は、原子炉建屋地下へ移送し、建屋滞留水として水処理設備へ移送する。

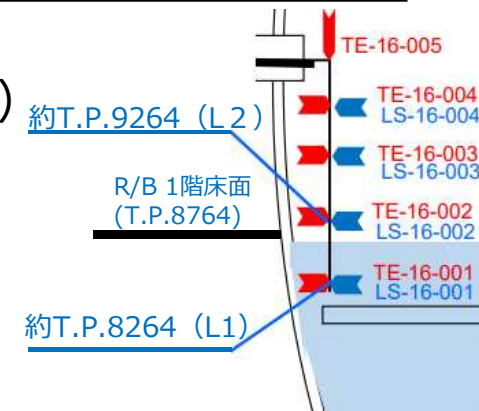
※1：適宜、水質確認を行い取水量は見直す。



<PCV水位管理>

- PCV水位は、現状水位と同程度（約T.P.8264～約T.P.9264）となるよう管理する。
- 原子炉注水量は、PCV水位に影響がないよう必要に応じ、取水する分だけ増加させる。 ※2

※2：PCV取水設備の運転は間欠運転となる。運転当初は、取水量を少なくし慎重に実施する（原子炉注水量の変更はなし）。



3. 今後のスケジュール

	2022年		
	10月		11月
PCV取水設備の運転	▽ 10/3 PCV取水設備の運転開始※1		

※1：PCV取水設備の運転は間欠運転となる。
また、PCV内水位や建屋内滞留水水位に関する作業との調整によって、
PCV取水設備の運転は停止することもある。